

平成21年度 9月分NGO相談員対応結果

●今月の照会・相談対応全体に対する所感等(注:具体的に記載して下さい。)

引き続き学生からの問い合わせは多くなってきており、今までは教員を通じての相談が多かったが、講義をやっているおかげで、直接の学生からの問い合わせが多くなってきている。また9月中旬に北海道でUNDP主催の「北の大地からアフリカへのメッセージ=『アフリカの年』50周年を前に=」が行われ、HIFとしてもオープニングをはじめ、パネルディスカッションに出たため、産官学民間問わず、アフリカについての問い合わせが非常に多くなってきている。世の中がなかなか景気回復をしない中で、学生のみならず、社会人も仕事だけではなく、もう一度世界に目を向けようという意味でNGOに関心が高まっているように思われる。NGO相談員の役割はますます高まっているものであり、更に広報や相談業務に力を入れてゆきたい。

●今月貴団体が対応した照会・相談のうち、特筆すべき照会・相談事項を3件記載下さい(3件以上ある場合、追加して記載下さい。)

1	インターン・就職相談について
相談内容	北海道で経験として国際協力分野でインターンや体験してみたいがどのような方法があるのか
対応内容	北海道ではインターンとして体験できる場所は少ないが、JICAやNGOなどを紹介する。またHIFでもインターン制度を導入してゆくため、インターンの体験の意味についても説明をした。また、北海道に拘らず、国内外に目を向けた場合には、更に可能性が高まるため、広く視野を持って、インターンや就職を考えることをアドバイスした。
特筆した理由	①就職は従来も多かったが、インターンの問い合わせが増えたため ②学生自身が相談するだけでなく、保護者からの相談も特徴的だったため

2	学生からの相談の増加について
相談内容	国内イベント、フェアトレード、開発教育、そしてインターン・就職も含めてNPO・NGOに関わることに對しているいろいろと情報が欲しい
対応内容	ゼミやサークルで学びたい、フェアトレードのグループを作りたいなどの積極的な取り組みに対する相談が多いため、該当するお店や、人物を紹介することによって対応をした。また、全国のNGO活動にも目を向けていけるように、JIANICのNGOダイレクトリーやNGO相談員となっている全国の団体も紹介をした。
特筆した理由	①いつもの月にも増してゼミやサークルの学生からの相談が多かったため ②春から夏にかけて、北海大学など様々な学校での講義から増加した傾向があったので

3	アフリカについての相談について
相談内容	昨年のG8やTICADから、その後のNGOの取り組みについてどうなっているのかについての情報を知りたい
対応内容	NGOの活力として2008年は重要な年だったことを踏まえて、アフリカ日本協議会をはじめ、アフリカの情報を持っている団体の紹介や、実際にアフリカで活動している高橋朋子さん(ジンバブエ)、早川千晶さん(ケニア)、サイクリングでアフリカを駆け巡った山崎美緒さんなど、身近な存在についても紹介をした。
特筆した理由	①地域に拘ってみるとアフリカに関する相談が多く感じたため ②音楽や食、文化など様々な視点からの興味が広がっているように思われたため

